

令和2年度 事業経過報告

一般社団法人秋田県歯科技工士会

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため多くの行事が中止になった。

総会は書面決議、理事会はオンラインでの開催となり、今後の会の運営も含めて大きな変革の時を迎えていると感じている。

そのような中、比較的感染状況が落ち着いている時期に、種苗交換会時の技工フェア、歯科医師会との懇談会、献血ボランティア活動が開催できたことはよかったと思う。

日本歯科技工士会創立65周年の表彰で、厚生労働大臣表彰を酒樹栄氏が、日技会長表彰を佐藤仁氏が受賞した。

事業は、理事会で決議後実施し、終了後は理事会で担当者が報告した。

I 実施事業

(1) 歯科技工学の普及啓発事業

歯科技工フェア

種苗交換会

- ・期 日 令和2年10月30日(金)～11月3日(火) 5日間
- ・会 場 出展会場 横手体育館 中体育館
- ・内 容 歯科補綴物の模型展示、歯科技工に関するパネル展示、来場者の手型採取
子供たちへのプレゼント(石膏模型や消しゴム)
- ・手型採取 2日間 計40名余
- ・参加者数 4日間(搬入・搬出含む) のべ 20名

献血ボランティア

- ・日 時 令和3年2月21日(日) 午前10時～午後4時
- ・場 所 イオン大曲店
- ・参加者 会員 7名 歯科衛生士会 1名
- ・献血者 献血者 200cc 1名 400cc 67名 不適 2名(受付者 70名)

広報発行

- ・令和3年3月5日 No.71 発行

ホームページ更新

献血ボランティアお知らせ 種苗交換会お知らせ 生涯研修アンケートについて等 不定期に更新

寄付等

日本赤十字社秋田県支部へ寄付

令和2年11月9日 金額 20,000円

(2) 教育研修及び徳性の向上事業

生涯研修

今年度の生涯研修はすべて中止

生涯研修修了者

I. 第8期 細田 武彦

II. 第3期 佐々木 順也

(3) 関係団体と連携する事業

ラジオスポット広告放送 ～歯と口の健康週間～

- ・期 間 令和2年 6月 4日(木)～ 10日(水)
- ・局 名 FM秋田
- ・内 容 歯と口の健康週間に合わせて県民に歯の大切さを呼びかける啓蒙活動
(秋田県歯科医師会主催 本会、歯科衛生士会共催)

秋田県歯科医師会との懇談会

- ・期 日 令和3年 2月 20日(土)
- ・場 所 秋田県歯科医師会館 3階「大会議室」
- ・参加者 本会～今野会長、酒樹・佐藤(仁)副会長、渡辺専務理事、佐々木(順)常務理事、
高橋(和)理事
歯科医師会～藤原会長、立花・佐々木副会長、鈴木専務理事、武蔵理事、
大川事務局長
歯科衛生士会～甫仮会長、山口専務理事、佐々木理事
- ・議 題 ①技工士の業務内容の見直しについて
②若い歯科技工士の加入促進等組織率のアップについて
③三団体共同による、WEB研修の開催促進について
④新型コロナウイルスのワクチン接種について
⑤災害歯科保健医療体制研修会について

(4) 福利厚生事業

共済事業

- ・今年度は会員1名が亡くなり、弔慰金として共済金を支給した。

報奨金

- ・今年度の対象者は1名。規程に従い報奨金を支給した。

慶弔費

- ・香典 1名 弔電 3名 規程に従い支給した。
- ・葬儀用生花 1名 旧役員につき特別拠出

組織状況

令和2年度会員移動状況

	R2.3 末現在	入会（新卒）	転入・転出	退 会	増 減	合 計
中 央	64	0	0	△3	△3	61
県 南	32	0	0	△1	△1	31
県 北	5	0	0	△1	△1	4
能代山本	12	0	0	0	0	12
本荘由利	13	0	0	0	0	13
合 計	126	0	0	△5	△4	121

※県南支部の退会者の内、1名は死亡による退会

その他

- ・ 通常総会、三役会、監査を各1回開催（総会は書面決議）
- ・ 理事会を総会前理事会含め計5回開催（すべてオンライン開催）
- ・ 日技社員総会に代表者が出席（オンライン開催）

※以上について、下記の点を踏まえて監事による監査を受けております。

- (1) 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保ための体制ができているか。
- (2) 理事の職務の執行にかかる情報の保存及び管理に関する体制ができているか。
- (3) 損失の危険の管理に関する規定その他の体制ができているか。
- (4) 理事の職務の執行が効率的に行われていることを確保するための体制ができているか。
- (5) 使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制ができているか。
- (6) 理事及び使用人が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制ができているか。
- (7) その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制ができているか。